

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



ユアサシステムソリューションズ・JX通信社

持続可能な調達に向けたサプライチェーンリスク可視化 災害危機管理システム「リスクセイバー」共同開発開始

サプライチェーン リスクを最小化し サステナブル調達

ユアサ商事株式会社(東京都千代田区、社長：田村 博之氏)のグループ会社であるユアサシステムソリューションズ株式会社(東京都中央区、社長：生井 彰一氏)、株式会社JX通信社(東京都千代田区、社長：米重 克洋氏)は、サステナブル調達に向けたサプライチェーンリスクを可視化する災害危機管理システム「リスクセイバー」の共同開発を開始した。

リスクセイバー 開発の背景

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大を機に、想定外の自然災害、半導体不足・コンテナ不足・鉄鋼市況高騰、人権問題など、近年は想定を超えるサプライチェーンリスクがたて続けに発生している。

サプライチェーンがグローバル化・多層化するなかで、これまでのような調達部門での経験や勘に依存する対応

のみでは、迅速なリスク把握や初動対応にバラつきが発生しがちだった。

こうした問題を解決するため、ユアサシステムソリューションズとJX通信社の両社は、サプライチェーンリスクの最小化に寄与するシステムを構築することを目的に、多様な産業分野のサプライチェーンリスク可視化災害危機管理システム「リスクセイバー」の共同開発に着手した。

災害危機管理システム リスクセイバーの特徴

リスクセイバーは、サプライチェーン上のリスクをリアルタイムに把握することが可能な日本初のシステムで、現在、特許出願中。

同システムは、SNSや報道で発信される自然災害などのWEB上のリスク情報をAIが24時間365日常時モニタリングすることで、サプライチェーン上のリスクを自動で抽出し、自社のサプライチェーン情報に紐づけることができる。被災したサプライヤーに対し、どのような仕事を任せていたか、具体的な製品番号や図面番号および代替生産可能先の情報が瞬時に表示する。こ

れにより、緊迫した災害の中にあっても冷静に生産を続けるための準備が可能となり、サステナブル調達の推進をさらに加速させる強力なツールとなる。

両社による 今後の展開

両社は今後、国内外にサプライチェーンを有する製造業をターゲットに2022年12月から実運用を開始し、サービスを幅広く展開していく。

ユアサシステム ソリューションズ

ユアサシステムソリューションズは、1989年4月にユアサ商事の情報子会社として設立。ユアサ商事グループの様々な基幹システムの開発・運用・保守を担っている。

また、業界を絞ったオリジナル販売管理パッケージソフトを開発・販売しており、建機レンタル業向けには「POWERFUL 建機」、管材・建材・機械工具商向けには「アドミニNeo」のソフト名で全国展開している。

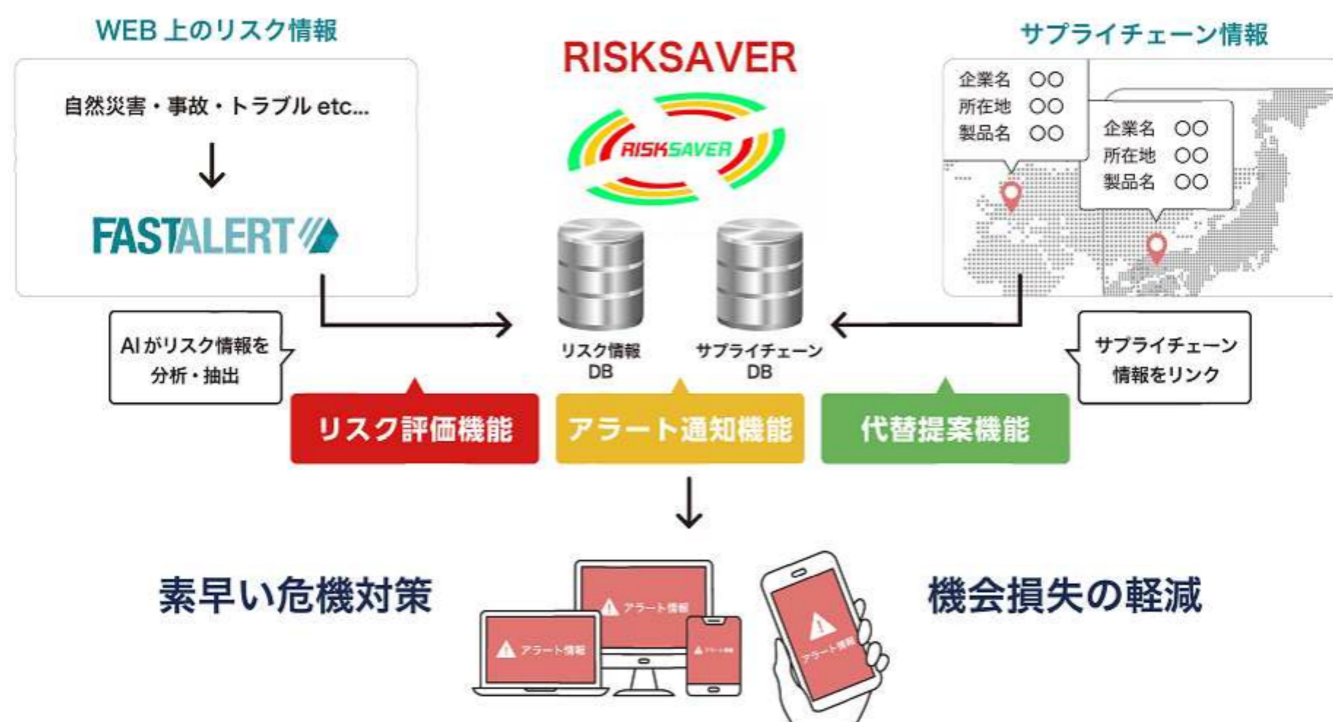
JX 通信社

JX 通信社は、報道領域に特化したテックベンチャー。

「1億人を動かすニュースを創る」というビジョンを目指して、国内の大半の報道機関のほか官公庁、インフラ企業等にSNS発のリスク情報を配信する「FASTALERT」、ソーシャルリスニング型マーケティングリサーチサービス「KAIZODE(カイゾード)」、一般消費者向けの速報ニュースアプリ「NewsDigest」、報道規格の高品質な選挙情勢調査サービス「JX通信社 情勢調査」を提供する。



(※資料提供：ユアサ商事)



BCM・BCP対策のための災害危機管理アプリ

RISKSAVER

[リスクセイバー]

災害危機情報の「いち早い把握」による
経営危機回避への素早い対応

■リスクセイバーの詳細→ <https://www.yuasa-sol.co.jp/products/products.html>
■ユアサシステムソリューションズWEBサイト→ <https://www.yuasa-sol.co.jp/>